



豊前



令和7年

12

DECEMBER

Vol.1273

第8回 豊前市制施行70周年記念事業

豊前てんぐウォーク

令和8年3月15日(日)

TENGU
WALK

参加者募集



市の動き

[R7.11月1日現在] ◆人口 22,980人(前月比-7) ◆男 10,868人(前月比+6) ◆女 12,112人(前月比-13) ◆世帯 11,680戸(前月比+16)

[URL] <https://www.city.buzen.lg.jp> [E-mail] info@joho.buzen.fukuoka.jp



豊前のおしごと 親子de体験隊

取材先 ▶ 豊前総合法律事務所

豊前市在住の親子記者が、市内の様々な企業や団体等取材し記事を掲載する同コーナー。26回目は、宮崎 佳奈子さん・悠仁さん（はるひと／11歳）・結子さん（9歳）、真依子さん（6歳）親子です。



豊前で唯一、総合的な法的サービスを提供 地域密着型の法律事務所を取材

今回私たちは「豊前総合法律事務所」を取材してきました。事務所の代表であり弁護士である西村さんは、約40年弁護士が不在だった豊前市に事務所を構え、年間200～300件の相談を受けているとのこと。

弁護士になったきっかけは、中学生の頃に観た映画「評決のとき」。



弁護士が
主人公の映画の
DVDがズラリ

「ここで相談に乗っているんですね」

「言葉の力。で人を救いたい」という強い思いが、お話から伝わってきました。弁護士事務所と聞き緊張していましたが、とても穏やかで親しみやすい方で安心しました。

事務所内には、骨の模型やミニカーのおもちゃなどが置いてあり、「何だろう？」と不思議な感じていた。実は、けがの箇所を明確にしたり自動車事故の再現をするために使用するそうです。この小道具に子どもたちも興味津々でした。

SDGs 見つけた！

豊前市で法的支援の拠点として活動する豊前総合法律事務所の西村弁護士は、一人ひとりの悩みに向き合い、トラブルの解決だけでなく、未然に防ぐための助言や地域の相談会にも力を入れています。

安心して暮らせる地域をめざし、誰もが法にアクセスできる社会を支える取り組みは、まさにSDGsの実践です。法的サービスを通じて市民の「困った」を減らし、人と人との信頼がつながる温かなまちづくりに貢献されていると感じました。

お子さんにも弁護士のお仕事や法の大切さが伝わる、素敵な取材でした。

取材協力 (株) ニコン日経プライム NNPシリーズSDGs連載担当
水谷洋司・石井弦一郎・岩崎裕子・福原丸未・宮川清希

■取材を希望される企業・団体および取材に記事を書いて
みたい親子記者を募集。

案内人 豊前総合法律事務所
代表・弁護士 西村 幸太郎さん



「いつでも、どこでも、だれでも法的サービスを受けられる社会を実現したいですね」と西村さん。

弁護士の仕事はトラブル解決だけではない

「豊前市から少しでもトラブルをなくしたい」と西村さん。人間関係の悩みや困りごとを解決することはもちろん、未然に防ぐ「予防」も弁護士の大事な仕事のひとつといいます。契約書の作成など、トラブルを防ぐアドバイスもしていただきますよ。



「ミニカーで事故の説明、
「分かりやすい」」

身近なテーマでイベントを開催中

同事務所では、地域の方々が弁護士に気軽に相談ができるきっかけづくりとして、「終活お話し会」を毎月開催しているそうです。

身近な「終活」がテーマであり、弁護士さんとお話できる良い機会なので、ぜひ気軽に参加してみてください（日程はホームページのお知らせ欄を参照）。



▲毎回、地元の多くの方が参加

取材先のSDGsポイント！



ポイント① SDGs目標10 人や国の不平等をなくそう
★誰もが平等に法的支援を受けられる仕組みづくりを推進



ポイント② SDGs目標11 住み続けられるまちづくりを
★司法へのアクセス整備を通じて、トラブルを解決し未然に防止



ポイント③ SDGs目標16 平和と公正をすべての人に
★公正で安心な地域社会の実現

Check Point

取材協力 豊前総合法律事務所 (Tel. 0979-53-9106)
豊前市青豊19-14スペースI
<https://www.buzenlawoffice.jp/>



撮影 Juri (@juri0_902)

※撮影中の様子は「おしごとパレット」のInstagramにて公開中
Instagram ID : @oshigotopalette

